

(外国語活動)、外国語

言語活動を効果的に位置付けるための活用シート

	教科等の目標	言語活動の指導のポイント
小学校	外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 外国語でのコミュニケーションを通して、その楽しさを体験し、言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さに気付かせ、積極的にコミュニケーションを図るための活動を工夫する。 ◆ 体験的に外国語を聞いたり、話したりすることを通して、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませるとともに、日本語との違いを知ることで言葉の面白さや豊かさ等に気付かせる活動を工夫する。
中学校	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 「聞くこと」では、英語を聞いて話し手の意向などを理解する、「話すこと」では、英語を用いて自分の考えなどを話す、「読むこと」では、英語を読んで書き手の意向などを理解する、「書くこと」では、英語を用いて自分の考えなどを書く学習活動を工夫する。 ◇ 特有の表現がよく使われる場面やコミュニケーションを円滑にするための学習活動を工夫する。

言語活動としての要素

要素Ⅰ 自己の思考		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語材料について理解した上で、それらを活用するために練習したりする。 ○ 伝えたい内容を自ら考えて表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の課題に対して自分の考えをもつ。 ○ 自分の考えをどのように表現するか考える。 ◇ 表現例をいくつか示し、具体的な場面や状況にふさわしい表現を生徒に選択させる。 ◇ 反復練習だけではなく、自分の意見や考えを加えられるような活動を設定し、自分の考えをワークシートやノートに書かせる。
要素Ⅱ 伝え合い		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際に言語を使用して、互いの考えや気持ちを伝え合う。 ○ 聞いたり読んだりした内容を踏まえて、自らの考えなどを発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他者との伝え合いを通して、多様なものの見方・考え方に触れる。 ◇ 具体的で分かりやすい場面や状況を設定する。 ◇ ペアや班などの学習形態を工夫して説明・発表し合う活動を行う。 ◇ 写真、絵、資料、ジェスチャーを活用させ、プレゼンテーションの仕方を工夫させる。
要素Ⅲ 思考のまとめ		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーション能力を向上させる取組を通して、言語や文化に対する理解を深めたり、コミュニケーションへの積極的な態度を身に付ける。 ○ 自分の考えを他者により良く表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他者との伝え合いを通して、再び自分の考えを深める。 ○ 自分の考えを自分の言葉で、他者によりよく表現する。 ◇ 自己評価や相互評価を行い、他者の発表のよいところや自分の課題に気付かせ、相手により分かりやすく伝える表現方法を考えさせる。 ◇ ワークシートやノートに学習して新たに気付いたことや重要なことをまとめて書かせる。

言語活動を支える基盤

基本的事項の理解	
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容の基本的事項を理解する。 ○ 各教科等に必要用語や記号及び表現を理解する。 ○ 言語の使用場面、言語の働きなどを理解する。 ○ 言語材料(音声、文字及び符号、語、連語及び慣用表現、文法事項)について理解する。
学習情報の獲得	
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験などを含めた広い意味での「教材」から情報を得る。 ○ 教科書、ノート、資料等から既習事項を確認する。 ○ コンピュータや情報通信ネットワーク等を活用して必要な情報を得る。 ○ 辞書を使って単語を調べる。